

特別支援教育実習指導

《担当者名》村岡 章子 (非) muraoka@ryoku-sin.or.jp

【概要】

特別支援学校教員免許取得に必須となる教育実習を各種特別支援学校において行うために、学習指導要領に基づく各教科等の指導計画や学習指導案の作成及び授業の進め方、教材研究などの基礎的な内容について講義及び演習を行う。

【学修目標】

特別支援学校（主として知肢病の領域）において、学習指導要領に基づき、児童生徒の実態に応じた適切な指導計画及び学習指導案を作成し、教材を準備し、教育実習を行うことができる基礎的知識・理解と技能を身に付ける。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	教育実習の意義、実習の心構え、先達の足跡等	村岡
2	特別支援学校の教育課程	特別支援学校の教育課程の特性	村岡
3	特別支援学校の教育課程	教科等及び指導形態別指導計画作成の実際	村岡
4	指導計画の作成と指導案作成	単元（題材）選定、単元計画、目標設定の在り方	村岡
5	指導計画の作成と指導案作成	指導過程、教材・教具、個に応じた配慮等の留意点	村岡
6	模擬授業の指導案検討	教科等の模擬授業の指導案を事前検討する（指導案A）	村岡
7	模擬授業の指導案検討	教科等の模擬授業の指導案を事前検討する（指導案B）	村岡
8	模擬授業の指導案検討	指導案の見直し修正のための演習	村岡
9	模擬授業の実際	修正指導案による模擬授業の実施と評価（授業A）	村岡
10	模擬授業の実際	修正指導案による模擬授業の実施と評価（授業B）	村岡
11	授業展開の要点	模擬授業の評価を基に授業展開の要点を整理する。	村岡
12	実習報告会	教育実習を振り返り、課題を整理する。	村岡
13	実習報告会	前時の課題について意見交流し、解決策を考える。	村岡
14	教育実習のまとめ	特別支援学校教諭に期待されること	村岡
15	教育実習のまとめ	これからの職業生活とキャリア発達（教職を主に）	村岡

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

レポート 50% 模擬授業の内容（指導案作成を含む） 50%

【教科書】

『特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 高等部学習指導要領 平成21年3月告示 文部科学省』 海文堂出版

『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編』

『はじめての特別支援教育 あるある事例の解決法98 青山真二 編』 図書文化
新学習指導要領等の講義資料を別途配布する。

【参考書】

中学校学習指導要領および同要領社会編 高等学校学習指導要領および同要領公民編
その他、学習指導の関係文献を参考にしてほしい。

【備考】

学生個々の教育実習の実施時期に応じ、講義内容の予定順を変える場合がある。

【学修の準備】

予習：毎回、授業時に提示する内容に取り組むこと（2時間）。

復習：毎回、授業時に提示する課題に取り組むこと（2時間）。

学習指導要領や講義資料を講義前後によく理解するように読むこと。

日頃から資料等に当たり、早めに模擬授業の構想を練るなど事前の準備を心がけることが大切である。

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「特別支援教育に関する科目」の「心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習」に該当する。

【実務経験】

特別支援学校教諭・教頭・校長 社会福祉法人緑伸会管理者

【実務経験を活かした教育内容】

特別支援学校校長等としての実務経験を活かし、実践的な教育を行う。

社会福祉法人管理者の経験を活かし、高等部卒業後の進路支援について、障害者福祉に関わる視野を広める。

教育と医療・福祉の連携についておおまかに制度知り、児移動生徒の学習や日常の支援にフィードバックして行く力を付ける。

障害児の保護者支援やその対応をして行く力を付ける。